

イック回帰分析法を用いた。計算には、SPSS ver. 12 を使用した。なお、検定は時間の制約上、一部に限定して行い、検定を行ったもののみ、その結果を記載した。また、多重仮説検定は行っていないので、注意が必要である。

### (7) 倫理的配慮

倫理的配慮として、質問紙の表紙には、匿名性を保つこと、データは統計処理され個人が特定されることはないことを明記した。また、調査開始に際し、この調査は強制でないこと、答えたくなかったら答えなくてもよいこと（白紙の提出可）、記入しなかったことによって成績や学校での評価に影響することはないこと、調査を拒否しても何ら不利益を被らないことを質問紙の表紙に記載し、教員より口頭でも説明した。また、調査終了後は、生徒自身により、添付のカラーシールで封をさせ、学校関係者は内容を見ないことを説明した。

## 【 調査結果 】

### A. 基本的分析（学年・性別集計）

#### (1) 家庭生活

##### ◆ 家族との会話頻度（表1. 表2）

高校生男女の家族との日常会話頻度を尋ねた（表1）。「よく話をする」生徒は高1、高2、高3の順に（以下同様の学年順）、男子では24%、24%、24%、女子では46%、47%、46%と学年による違いはなく、女子の方が2割ほど多かった（ $P<0.001$ ）。また、表2に会話の相手を示す。「わりと話をする」「よく話をする」相手は、男女とも母親（男子91%、92%、91%、女子94%、94%、94%）が一位で90%を超え、兄弟姉妹（男子73%、68%、69%、女子71%、69%、69%）、父親（男子59%、58%、60%、女子41%、43%、42%）の順で、父親との会話は男子生徒の方が多かった（ $P<0.001$ ）。

表1. 家族との日常会話頻度

		男子	%	女子	%
1年生	まったく話をしない	40	0.9	12	0.3
	ほとんど話をしない	187	4.3	103	2.7
	たまに話をする	1031	23.9	431	11.2
	わりと話をする	1998	46.3	1546	40.1
	よく話をする	1044	24.2	1757	45.6
	不明	13	0.3	6	0.2
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	まったく話をしない	52	0.9	19	0.4
	ほとんど話をしない	266	4.8	152	2.9
	たまに話をする	1376	25.0	547	10.4
	わりと話をする	2459	44.6	2059	39.0
	よく話をする	1335	24.2	2481	47.0
	不明	23	0.4	16	0.3
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	まったく話をしない	13	0.7	2	0.1
	ほとんど話をしない	82	4.4	31	2.0
	たまに話をする	487	26.0	190	12.0
	わりと話をする	839	44.7	634	40.1
	よく話をする	446	23.8	723	45.7
	不明	9	0.5	2	0.1
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表2. 「わりと話をする」「よく話をする」相手はだれですか？

		(複数回答)			
		男子	%	女子	%
1年生	父	1789	59.1	1357	41.2
	母	2745	90.7	3091	93.8
	兄弟姉妹	2216	73.2	2354	71.4
	祖父母	696	23.0	610	18.5
	その他	58	1.9	50	1.5
	合計	3026	100.0	3296	100.0
2年生	父	2193	58.0	1957	43.2
	母	3468	91.8	4278	94.4
	兄弟姉妹	2550	67.5	3113	68.7
	祖父母	897	23.7	860	19.0
	その他	77	2.0	76	1.7
	合計	3778	100.0	4533	100.0
3年生	父	773	60.4	569	42.0
	母	1158	90.5	1271	93.8
	兄弟姉妹	880	68.8	928	68.5
	祖父母	305	23.8	215	15.9
	その他	31	2.4	27	2.0
	合計	1280	100.0	1355	100.0

◆ 深刻な悩みの相談 (表3.表4)

とても深刻な悩みがあるとき、家族に相談するかどうかを尋ねた (表3)。「絶対に相談する」「たぶん相談する」生徒は男子30%、30%、32%、女子42%、47%、47%で深刻な悩みの相談相手として家族を考えている生徒は3割から半数弱にとどまり、男女比較では女子の方が高く (P<0.001)、学年上昇とともにやや増加する傾向が見られた。また、表4に相談相手を示すが、可能性のある相談相手は、日常会話の相手同様、母親が最も多く、男子84%、85%、81%、女子86%、89%、89%と男女とも8~9割であった。2番目は男子では父親で、47%、44%、47%であったが、女子では兄姉が2番目で、父親との相談は3番目になり、10%、12%、11%にとどまり、男子に比べ女子生徒と父親との距離はかなり大きいことが示された (P<0.001)。

表3. 深刻な悩みがあるとき、家族に相談しますか？

		男子	%	女子	%
1年生	ぜったいに相談する	110	2.6	223	5.8
	たぶん相談する	1162	26.9	1378	35.7
	たぶん相談しない	1787	41.4	1297	33.6
	ぜったいに相談しない	551	12.8	418	10.8
	わからない	692	16.0	535	13.9
	不明	11	0.3	4	0.1
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	ぜったいに相談する	155	2.8	316	6.0
	たぶん相談する	1467	26.6	2135	40.5
	たぶん相談しない	2322	42.1	1705	32.3
	ぜったいに相談しない	690	12.5	452	8.6
	わからない	856	15.5	651	12.3
	不明	21	0.4	15	0.3
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	ぜったいに相談する	62	3.3	100	6.3
	たぶん相談する	534	28.5	642	40.6
	たぶん相談しない	766	40.8	510	32.2
	ぜったいに相談しない	227	12.1	135	8.5
	わからない	278	14.8	194	12.3
	不明	9	0.5	1	0.1
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表4. 相談する相手は誰ですか？(複数回答)

		男子	%	女子	%
1年生	父	587	46.5	163	10.2
	母	1056	83.7	1369	85.9
	兄姉	248	19.7	432	27.1
	祖父母	63	5.0	64	4.0
	その他	60	4.8	96	6.0
	合計	1262	100.0	1594	100.0
	2年生	父	701	43.6	286
母		1361	84.7	2186	89.4
兄姉		302	18.8	600	24.5
祖父母		74	4.6	55	2.2
その他		73	4.5	179	7.3
合計		1606	100.0	2445	100.0
3年生		父	278	47.0	80
	母	482	81.4	659	88.9
	兄姉	122	20.6	198	26.7
	祖父母	31	5.2	15	2.0
	その他	38	6.4	49	6.6
	合計	592	100.0	741	100.0

◆ 男女交際に関する家族との会話経験 (表 5)

次に男女交際について家族と話した経験を尋ねた (表 5)。男女交際について話した経験は男子で 30%、35%、41%、女子では 55%、61%、65%と男女とも学年とともに増加する傾向は共通していたが、相談率は女子の方が 2 割以上も高く (P<0.001)、男女交際に関する家族と子供のコミュニケーションが男女で大きく差があることが示された。

表 5. 家族と男女交際について話したことがありますか？

		男子	%	女子	%
1 年生	ある	1302	30.2	2132	55.3
	ない	2959	68.6	1707	44.3
	不明	52	1.2	16	0.4
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2 年生	ある	1919	34.8	3234	61.3
	ない	3542	64.3	2002	38.0
	不明	50	0.9	38	0.7
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3 年生	ある	768	40.9	1027	64.9
	ない	1085	57.8	547	34.6
	不明	23	1.2	8	0.5
	合計	1876	100.0	1582	100.0

(2) 友人との関係および精神的状況

◆ 各種友人の有無 (表 6~表 11)

表 6~表 11 では各種友人の有無を尋ねた。「暇な時、一緒にいる友人」を有する生徒は学年順に男子 86%、84%、85%で女子 91%、89%、86%で (表 6)、「よく一緒に遊ぶ友人」を有する生徒は男子 87%、86%、86%、女子 92%、89%、88% (表 7)、「メール交換をする友人」を有する生徒は男子 90%、86%、81%、女子 97%、95%、93% (表 8)、「気が合う友人」を有する生徒は男子 96%、95%、95%、女子 97%、97%、97%と男女とも 9 割を超え、各種友人の中で最も高い割合であった (表 9)。それに対し、上記の友人に対し「心から信じられる友人」を有する生徒は男子 79%、78%、80%、女子でも 86%、84%、83%と 1~2 割減少し (表 10)、「困った時、話を聞いてくれる友人」を有する生徒は男子 73%、73%、76%、女子で 90%、89%、90%に減少し (表 11)、9 割を超える“遊び友達”の多さに比べ、“信頼できる友達”を有する生徒数は限られ、特に男子生徒における友人サポートが少ない傾向が明らかとなった (P<0.001)。

表 6. ひまな時、一緒にいる友人はいますか？

		男子	%	女子	%
1 年生	いる	3719	86.2	3493	90.6
	いない	558	12.9	334	8.7
	不明	36	0.8	28	0.7
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2 年生	いる	4633	84.1	4669	88.5
	いない	816	14.8	564	10.7
	不明	62	1.1	41	0.8
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3 年生	いる	1588	84.6	1355	85.7
	いない	264	14.1	205	13.0
	不明	24	1.3	22	1.4
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表8. メールを交換する友人がいますか？

		男子	%	女子	%
1年生	いる	3860	89.5	3739	97.0
	いない	418	9.7	100	2.6
	不明	35	0.8	16	0.4
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	いる	4726	85.8	4997	94.7
	いない	718	13.0	248	4.7
	不明	67	1.2	29	0.5
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	いる	1526	81.3	1471	93.0
	いない	324	17.3	102	6.4
	不明	26	1.4	9	0.6
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表7. よく一緒に遊ぶ友人はいますか？

		男子	%	女子	%
1年生	いる	3770	87.4	3558	92.3
	いない	508	11.8	272	7.1
	不明	35	0.8	25	0.6
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	いる	4718	85.6	4693	89.0
	いない	732	13.3	558	10.6
	不明	61	1.1	23	0.4
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	いる	1620	86.4	1396	88.2
	いない	239	12.7	178	11.3
	不明	17	0.9	8	0.5
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表9. 気があう友人がいますか？

		男子	%	女子	%
1年生	いる	4122	95.6	3755	97.4
	いない	164	3.8	84	2.2
	不明	27	0.6	16	0.4
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	いる	5231	94.9	5115	97.0
	いない	237	4.3	137	2.6
	不明	43	0.8	22	0.4
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	いる	1779	94.8	1528	96.6
	いない	78	4.2	47	3.0
	不明	19	1.0	7	0.4
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表 10. 心から信じられる友人がいますか？

		男子	%	女子	%
1年生	いる	3423	79.4	3317	86.0
	いない	818	19.0	495	12.8
	不明	72	1.7	43	1.1
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	いる	4276	77.6	4421	83.8
	いない	1123	20.4	782	14.8
	不明	112	2.0	71	1.3
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	いる	1506	80.3	1314	83.1
	いない	336	17.9	252	15.9
	不明	34	1.8	16	1.0
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表 11. 困ったとき話を聞いてくれる友人がいますか？

		男子	%	女子	%
1年生	いる	3148	73.0	3475	90.1
	いない	1083	25.1	336	8.7
	不明	82	1.9	44	1.1
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	いる	4016	72.9	4706	89.2
	いない	1371	24.9	518	9.8
	不明	124	2.3	50	0.9
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	いる	1434	76.4	1428	90.3
	いない	406	21.6	141	8.9
	不明	36	1.9	13	0.8
	合計	1876	100.0	1582	100.0

◆ 精神的状況 (表 12~16)

表 12~16 には高校生の精神的な状況の頻度を示した。下記の精神的状態を学年順性別に見ると、まず「自分がひとりぼっちだとよく感じる」生徒は、男子 8%、10%、11%、女子 9%、11%、12%で男女とも 1 割前後で (表 12)、「よく仲間はずれにされる」生徒は、男子 3%、3%、3%、女子 3%、3%、3%で少数ではあるが男女同程度に存在する (表 13)。「悲しい時でも、笑顔を見せることがよくある」生徒は男子 19%、18%、19%、女子では 30%、29%、31%で女子の方が 10%以上高く (表 14) ( $P<0.001$ )、また、「泣きたくなるほどつらい気持ちになることがよくある」生徒は、男子 11%、12%、12%で、女子 22%、24%、24%と全体では 1~2 割にも達し、かつ女子の方が男子より約 2 倍の高値を示した (表 15) ( $P<0.001$ )。「がまんできないほど腹が立つことがよくある」生徒は男子で 17%、16%、17%、女子でも 19%、18%、19%と男女ともほぼ同じく 2 割弱であった。高校生の精神状態を全般的に見ると、女子の方が不安定な傾向が高いことが示された。

表 12. 自分がひとりぼっちだと感じるがありますか?

		男子	%	女子	%
1 年生	よくある	351	8.1	356	9.2
	ときどきある	963	22.3	1145	29.7
	たまにある	1913	44.4	1689	43.8
	一度もない	1069	24.8	650	16.9
	不明	17	0.4	15	0.4
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2 年生	よくある	551	10.0	571	10.8
	ときどきある	1377	25.0	1649	31.3
	たまにある	2337	42.4	2294	43.5
	一度もない	1218	22.1	746	14.1
	不明	28	0.5	14	0.3
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3 年生	よくある	211	11.2	189	11.9
	ときどきある	474	25.3	520	32.9
	たまにある	732	39.0	656	41.5
	一度もない	444	23.7	217	13.7
	不明	15	0.8	0	0
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表 13. 友達から仲間はずれにされたことがありますか？

		男子	%	女子	%
1年生	よくある	119	2.8	105	2.7
	ときどきある	336	7.8	411	10.7
	たまにある	1737	40.3	1726	44.8
	一度もない	2100	48.7	1573	40.8
	不明	21	0.5	40	1.0
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	よくある	164	3.0	136	2.6
	ときどきある	487	8.8	530	10.0
	たまにある	2235	40.6	2285	43.3
	一度もない	2574	46.7	2279	43.2
	不明	51	0.9	44	0.8
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	よくある	58	3.1	47	3.0
	ときどきある	184	9.8	135	8.5
	たまにある	754	40.2	752	47.5
	一度もない	862	45.9	627	39.6
	不明	18	1.0	21	1.3
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表 14. 悲しいときでも、笑顔を見せることがありますか？

		男子	%	女子	%
1年生	よくある	799	18.5	1163	30.2
	ときどきある	1357	31.5	1406	36.5
	たまにある	1558	36.1	1109	28.8
	一度もない	571	13.2	163	4.2
	不明	28	0.6	14	0.4
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	よくある	983	17.8	1536	29.1
	ときどきある	1732	31.4	1917	36.3
	たまにある	2020	36.7	1564	29.7
	一度もない	734	13.3	234	4.4
	不明	42	0.8	23	0.4
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	よくある	361	19.2	485	30.7
	ときどきある	587	31.3	570	36.0
	たまにある	668	35.6	448	28.3
	一度もない	238	12.7	72	4.6
	不明	22	1.2	7	0.4
	合計	1876	100.0	1582	100.0



表 15. 泣きたくなるほどつらい気持ちになることがありますか？

		男子	%	女子	%
1年生	よくある	458	10.6	856	22.2
	ときどきある	978	22.7	1358	35.2
	たまにある	1909	44.3	1390	36.1
	一度もない	938	21.7	232	6.0
	不明	30	0.7	19	0.5
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	よくある	639	11.6	1260	23.9
	ときどきある	1329	24.1	1900	36.0
	たまにある	2394	43.4	1832	34.7
	一度もない	1111	20.2	266	5.0
	不明	38	0.7	16	0.3
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	よくある	227	12.1	386	24.4
	ときどきある	445	23.7	567	35.8
	たまにある	823	43.9	551	34.8
	一度もない	363	19.3	76	4.8
	不明	18	1.0	2	0.1
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表 16. がまんできないほど腹が立つことがありますか？

		男子	%	女子	%
1年生	よくある	721	16.7	736	19.1
	ときどきある	1437	33.3	1287	33.4
	たまにある	1653	38.3	1548	40.2
	一度もない	485	11.2	274	7.1
	不明	17	0.4	10	0.3
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	よくある	901	16.3	931	17.7
	ときどきある	1866	33.9	1768	33.5
	たまにある	2174	39.4	2226	42.2
	一度もない	545	9.9	341	6.5
	不明	25	0.5	8	0.2
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	よくある	311	16.6	305	19.3
	ときどきある	629	33.5	540	34.1
	たまにある	736	39.2	629	39.8
	一度もない	185	9.9	108	6.8
	不明	15	0.8	0	0
	合計	1876	100.0	1582	100.0

### (3) 日常生活

#### ◆ 携帯電話所持率 (表 17)

高校生の携帯電話所持率を学年順に見ると、男子で 95%、96%、95%、女子では 98%、99%、99% で男女とも全学年で 95% を超え、女子の方が数% 程度高いことが示された (表 17)。これを昨年と同 PTA 連合会による携帯電話調査 (全国高校 2 年生 2381 人対象) と比較すると、昨年度は高校 2 年生で男子 66%、女子 73% の所持率であったことから、今年度に急激に携帯電話が普及する事情があったことが伺われる。

表 17. 携帯電話を持っていますか？

		男子	%	女子	%
1 年生	はい	4085	94.7	3786	98.2
	いいえ	220	5.1	62	1.6
	不明	8	0.2	7	0.2
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2 年生	はい	5293	96.0	5208	98.7
	いいえ	200	3.6	61	1.2
	不明	18	0.3	5	0.1
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3 年生	はい	1790	95.4	1558	98.5
	いいえ	76	4.1	23	1.5
	不明	10	0.5	1	0.1
	合計	1876	100.0	1582	100.0

#### ◆ 喫煙経験と飲酒経験 (表 18~21)

G 県高校生の喫煙経験と飲酒経験を尋ねた。学年順性別に見ると、喫煙では男子 26%、35%、46%、女子 19%、21%、26% と高校生の 2~5 割で喫煙経験があり (男女差  $P < 0.001$ )、毎日喫煙している生徒は男子 4%、8%、16%、女子 2%、3%、5% (男女差  $P < 0.001$ ) であった (表 18)。一日の喫煙本数の分布は表 19 に示した。一方、飲酒では、男子 72%、78%、80%、女子 70%、77%、81% で男女差はなく 7~8 割が飲酒経験を持ち、「たまに飲む」生徒は男子 31%、42%、46%、女子 33%、42%、47% と半数近くにもものぼり、そのうち毎週飲酒している生徒が男子 3%、5%、6%、女子 2%、3%、3% であった (表 20)。週あたりの飲酒頻度の分布を表 21 に示した。

表 18. 喫煙経験

		男子	%	女子	%
1年生	すったことがない	3126	72.5	3113	80.8
	すったことがあるが、今はすわない	792	18.4	523	13.6
	たまにすう	190	4.4	132	3.4
	よくすう	189	4.4	73	1.9
	不明	16	0.4	14	0.4
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	すったことがない	3562	64.6	4164	79.0
	すったことがあるが、今はすわない	1186	21.5	735	13.9
	たまにすう	297	5.4	209	4.0
	よくすう	435	7.9	153	2.9
	不明	31	0.6	13	0.2
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	すったことがない	1010	53.8	1165	73.6
	すったことがあるが、今はすわない	431	23.0	251	15.9
	たまにすう	127	6.8	84	5.3
	よくすう	291	15.5	79	5.0
	不明	17	0.9	3	0.2
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表 19. 「よくすう」人の喫煙頻度

		男子	%	女子	%
1年生	1-5本	45	23.8	24	32.9
	6-10本	69	36.5	25	34.2
	11-20本	58	30.7	13	17.8
	21本以上	10	5.3	2	2.7
	不明	7	3.7	9	12.3
	合計	189	100.0	73	100.0
2年生	1-5本	105	24.1	73	47.7
	6-10本	169	38.9	42	27.5
	11-20本	132	30.3	24	15.7
	21本以上	13	3.0	1	0.7
	不明	16	3.7	13	8.5
	合計	435	100.0	153	100.0
3年生	1-5本	50	17.2	21	26.6
	6-10本	114	39.2	29	36.7
	11-20本	98	33.7	18	22.8
	21本以上	16	5.5	2	2.5
	不明	13	4.5	9	11.4
	合計	291	100.0	79	100.0

表 20. 飲酒経験

		男子	%	女子	%
1年生	のんだことがない	1217	28.2	1129	29.3
	のんだことがあるが、今はのまない	1622	37.6	1340	34.8
	たまにのむ	1343	31.1	1289	33.4
	よくのむ	118	2.7	84	2.2
	不明	13	0.3	13	0.3
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	のんだことがない	1166	21.2	1253	23.8
	のんだことがあるが、今はのまない	1718	31.2	1665	31.6
	たまにのむ	2317	42.0	2194	41.6
	よくのむ	281	5.1	146	2.8
	不明	29	0.5	16	0.3
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	のんだことがない	357	19.0	302	19.1
	のんだことがあるが、今はのまない	526	28.0	491	31.0
	たまにのむ	864	46.1	740	46.8
	よくのむ	117	6.2	48	3.0
	不明	12	0.6	1	0.1
	合計	1876	100.0	1582	100.0

表 21. 「よくのむ」人の飲酒頻度

		男子	%	女子	%
1年生	週1回	17	14.4	23	27.4
	週2-3回	48	40.7	40	47.6
	週4回以上	37	31.4	13	15.5
	不明	16	13.6	8	9.5
	合計	118	100.0	84	100.0
2年生	週1回	66	23.5	36	24.7
	週2-3回	114	40.6	61	41.8
	週4回以上	81	28.8	31	21.2
	不明	20	7.1	18	12.3
	合計	281	100.0	146	100.0
3年生	週1回	23	19.7	13	27.1
	週2-3回	50	42.7	20	41.7
	週4回以上	34	29.1	8	16.7
	不明	10	8.5	7	14.6
	合計	117	100.0	48	100.0

◆ 各種経験(表 22)及び出会い系サイト利用内訳(表 22-2)

表 22 に各種経験者の割合を示した。各経験を学年順性別に見ると、「出会い系サイト」利用者が男子 5%、7%、9%、女子 8%、9%、12%と男女とも学年とともに利用率が増加し高 3 では 1 割近い生徒が利用経験を持っていた。「援助交際」経験者は男子 0.2%、0.2%、0.2%、女子 1.1%、1.1%、1.9%で、前述の「出会い系サイト利用」いずれも男子よりも女子の経験者の割合が高かった(いずれも、男女差  $P < 0.001$ )。さらに出会い系サイトの利用内訳を見ると(表 22-2)、「出会い系サイト」で知り合った相手と「メール交換をしたことがある」生徒は、利用者のうち男子 44%、49%、50%で、女子 69%、66%、73%にも達していた。また「その相手と会ったことがある」生徒は、男子 12%、9%、24%で、女子 20%、25%、33%であった。その中で「実際危険な目にあったことがある」生徒は、男子 6%、4%、7%で、女子 4%、5%、8%にも及んでいた。一方、各種薬物(大麻・スピード・シンナー)利用状況を見ると(表 22)、高 3 男女のシンナー利用者が 1%を超える以外は全て 1%以下であるが男女とも存在し、高 3 女子のシンナー以外は、女子に比べ男子の経験率が高い傾向にあった。

表 22. 他の経験(複数回答)

		男子	%	女子	%
1 年生	出会い系サイト	195	4.7	302	8.0
	援助交際	8	0.2	43	1.1
	大麻、ハッシ、ハッパ	11	0.3	11	0.3
	スピード、S	8	0.2	5	0.1
	シンナー	29	0.7	20	0.5
	どれも経験がない	3960	94.8	3450	91.6
	合計	4178	100.0	3766	100.0
2 年生	出会い系サイト	366	6.9	475	9.2
	援助交際	11	0.2	56	1.1
	大麻、ハッシ、ハッパ	27	0.5	10	0.2
	スピード、S	10	0.2	4	0.1
	シンナー	52	1.0	37	0.7
	どれも経験がない	4892	92.4	4650	90.2
	合計	5295	100.0	5157	100.0
3 年生	出会い系サイト	168	9.3	180	11.7
	援助交際	4	0.2	30	1.9
	大麻、ハッシ、ハッパ	16	0.9	11	0.7
	スピード、S	7	0.4	6	0.4
	シンナー	25	1.4	28	1.8
	どれも経験がない	1622	89.8	1337	86.5
	合計	1806	100.0	1545	100.0

表 22-2. 「出会い系サイト」の利用について (複数回答)

		男子	%	女子	%
1年生	開いて、見たことがある	152	77.9	228	76.0
	書き込みをしたことがある	65	33.3	138	46.0
	メール交換をしたことがある	85	43.6	207	69.0
	相手と会ったことがある	24	12.3	59	19.7
	危険な目にあっただことがある	11	5.6	12	4.0
	合計	195	100.0	300	100.0
2年生	開いて、見たことがある	301	83.4	332	71.7
	書き込みをしたことがある	139	38.5	202	43.6
	メール交換をしたことがある	175	48.5	307	66.3
	相手と会ったことがある	32	8.9	116	25.1
	危険な目にあっただことがある	16	4.4	21	4.5
	合計	361	100.0	463	100.0
3年生	開いて、見たことがある	120	72.7	136	76.4
	書き込みをしたことがある	66	40.0	98	55.1
	メール交換をしたことがある	83	50.3	130	73.0
	相手と会ったことがある	40	24.2	58	32.6
	危険な目にあっただことがある	12	7.3	14	7.9
	合計	165	100.0	178	100.0

#### (4) エイズ/性感染症関連知識の正解率 (表 23)

エイズ/性感染症 (STD) 関連知識の正解率を調べた (表 23)。日本の若者の間でエイズ/性感染症/人工妊娠中絶が増加していることは、全学年とも 7~9 割が正解で、また、エイズの感染経路などの基礎知識も 7~9 割の生徒が正解であった。それに対しエイズ検査に関する質問や一般の性感染症に関する知識の正解率は 2~6 割にとどまり、地元の情報に関する知識は 1~2 割と最も低く、STD が自分自身の問題として捉えられていないこと、自分自身が感染を知る方法やより身近な情報が十分伝わっていないことが示された。また、男女で比較すると、全学年とも全般的に女子の正解率が高く (多くの場合  $P < 0.001$ )、中には女子の方が 20% 以上も正解率が高かった設問もあり、実際の性行為の場面で主に主導権をとると考えられる男子の知識レベルを上げる必要性が示唆された。

表 23. エイズ/性感染症関連知識の正解率

	1 年生		2 年生		3 年生	
	男子%	女子%	男子%	女子%	男子%	女子%
	n=4313	n=1727	n=5511	n=1778	n=1876	n=1580
日本の若者で HIV 感染者が増えている (○)	80.8	84.6	79.4	85.6	75.1	84.6
日本の若者の STD 感染者が増えている (○)	77.2	84.1	80.2	89.3	77.2	89.3
日本の 10 代の女性で中絶する人が増えている (○)	67.6	78.8	77.7	88.7	76.1	85.7
あなたが住んでいる地域で、最近 10 代の女性で中絶する人が増えている (○)	13.4	12.1	15.8	16.5	16.6	15.9
クラミジアはセックスでうつる (○)	38.2	46.6	49.1	58.9	46.8	56.8
HIV は食器から感染する可能性がある (×)	78.5	88.0	81.4	90.0	80.0	92.2
HIV は風呂から感染する可能性がある (×)	75.7	79.8	77.7	81.9	76.0	85.3
STD にかかると HIV に感染しやすい (○)	19.8	22.0	15.2	18.8	16.4	20.1
STD にかかると必ず症状が出る (×)	36.7	41.3	45.1	52.3	41.8	50.5
STD にかかると不妊になることがある (○)	35.8	44.7	45.2	54.7	40.3	55.9
STD にかかると子宮ガンになりやすくなる (○)	21.5	21.6	22.9	22.2	21.4	24.5
新薬で、エイズを発病するまでの期間を遅くできる (○)	43.0	44.5	43.7	47.2	38.5	48.2
HIV 感染してから数日後に感染の有無が検査でわかる (×)	31.1	36.5	28.9	33.3	24.2	31.1
HIV 感染者は国に報告される (×)	41.5	50.4	40.0	44.9	33.4	37.7
保健所で匿名無料で HIV 検査ができる (○)	60.2	65.1	61.0	66.7	46.0	45.0
自分の住んでいる地域以外の保健所でも HIV 検査ができる (○)	40.5	38.2	43.2	40.3	35.9	34.1
コンドームは STD/HIV 予防効果がある (○)	89.1	92.3	91.5	94.1	86.3	93.0
ピルは避妊薬である (○)	57.5	74.0	86.5	92.5	75.2	86.8
ピルは STD/HIV の予防になる (×)	37.8	46.0	65.2	74.2	51.7	61.6
膈外射精は避妊にならない (○)	36.6	41.7	63.9	66.5	50.9	57.5
安全日はコンドームなしでも妊娠しない (×)	46.5	71.0	69.0	85.0	62.3	83.8

問題の正確な表現は質問表を参照のこと。○×は正解。

### (5) 性情報への曝露状況

#### ◆ はじめて性行為の意味を知った時期 (表 24) 学年 (表 25)

性行為がどういうことかはじめて知った時期を尋ねた (表 24)。小学校で知った人は学年順性別に見ると、男子 39%、38%、35%、女子では 54%、52%、50%と男子の半数弱、女子では半数以上が小学校の時点で性行為の意味を知っていた (男女差  $P<0.001$ )。男子は中学校で知った割合が最も高く、男子に比べ女子の方が早期に性行為の意味を知る傾向にある。意味を知った学年は、全学年、男女ともでは中学1年生が最も多かった (表 25)。

表 24. セックスの意味をいつ知りましたか？

		男子	%	女子	%
1年生	小学	1659	38.5	2078	53.9
	中学	2529	58.6	1648	42.7
	高校	47	1.1	29	0.8
	不明	78	1.8	100	2.6
	合計	4313	100.0	3855	100.0
2年生	小学	2081	37.8	2753	52.2
	中学	3163	57.4	2288	43.4
	高校	115	2.1	85	1.6
	不明	152	2.8	148	2.8
	合計	5511	100.0	5274	100.0
3年生	小学	648	34.5	792	50.1
	中学	1106	59.0	703	44.4
	高校	55	2.9	42	2.7
	不明	67	3.6	45	2.8
	合計	1876	100.0	1582	100.0



表 25. セックスの意味を知った学年はいつ？

		男子	%	女子	%	
1年生	小1	17	1.1	17	1.0	
	小2	13	0.8	26	1.5	
	小3	47	2.9	77	4.5	
	小4	109	6.8	159	9.2	
	小5	231	14.5	359	20.8	
	小6	274	17.2	283	16.4	
	中1	475	29.8	366	21.2	
	中2	267	16.7	189	10.9	
	中3	65	4.1	47	2.7	
	高1	21	1.3	10	0.6	
	不明	76	4.8	194	11.2	
	合計		1595	100.0	1727	100.0
2年生	小1	9	0.6	23	1.3	
	小2	12	0.8	29	1.6	
	小3	34	2.3	85	4.8	
	小4	101	6.8	172	9.7	
	小5	244	16.5	342	19.2	
	小6	222	15.0	251	14.1	
	中1	444	30.1	409	23.0	
	中2	263	17.8	229	12.9	
	中3	55	3.7	39	2.2	
	高1	12	0.8	23	1.3	
	高2	5	0.3	8	0.4	
	不明	75	5.1	168	9.4	
	合計		1476	100.0	1778	100.0
	3年生	小1	19	1.3	19	1.2
小2		18	1.3	28	1.8	
小3		50	3.5	88	5.6	
小4		92	6.5	170	10.8	
小5		203	14.4	297	18.8	
小6		220	15.6	213	13.5	
中1		406	28.8	320	20.3	
中2		228	16.2	192	12.2	
中3		57	4.0	52	3.3	
高1		25	1.8	33	2.1	
高2		2	0.1	8	0.5	
高3		5	0.4	4	0.3	
不明		86	6.1	156	9.9	
合計			1411	100.0	1580	100.0

◆ はじめての性情報源 (表 26)

はじめての性情報は生涯の性行動に大きな影響を及ぼすと言われているが、表 26 にはじめての性情報源を示した。高い順に上位 3 位を示すと、男子生徒では、同性の友達 (学年順: 49%、45%、43%)、保健体育の教師 (9%、8%、10%)、同性の先輩 (6%、6%、5%) で、女子では同性の友達 (学年順: 26%、25%、19%)、保健体育の教師 (12%、13%、15%)、養護教諭 (9%、8%、11%) であった。男女とも一位をしめるのは同性の友達という不確実な情報源であったが、女子の方が学校関係者からの情報源の割合が多かった ( $P<0.001$ )。

表 26. セックスについて最初に知ったのは誰から？

	1 年生		2 年生		3 年生	
	男子% n=4313	女子% n=1727	男子% n=5511	女子% n=1778	男子% n=1876	女子% n=1580
男の友達	49.0	6.3	45.0	5.2	42.6	4.7
男の先輩	5.6	0.7	6.4	0.5	5.4	0.9
女の友達	1.6	25.9	1.2	24.7	1.0	18.7
女の先輩	0.3	1.3	0.2	1.4	0.4	1.4
彼氏や彼女	0.4	0.6	0.3	0.8	0.4	1.1
養護の先生	1.6	9.1	1.4	7.8	1.6	11.3
保健体育の先生	9.3	12.0	8.4	13.1	10.4	15.3
家庭科の先生	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.5
クラス担任の先生	2.8	3.4	2.5	3.6	2.9	3.9
兄・姉	0.6	0.9	0.6	0.8	0.7	0.6
父・母	0.7	1.7	0.6	1.6	0.9	1.4
親戚の人	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.2
テレビのドラマ	2.5	5.9	3.0	5.8	2.1	6.1
アダルトビデオ	2.0	0.3	2.3	0.3	2.5	0.3
新聞	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
雑誌・週刊誌	3.1	3.5	5.3	4.2	4.7	4.2
マンガ	3.2	10.8	4.1	9.4	5.1	9.8
専門書	0.3	0.3	0.5	0.6	0.5	0.4
インターネット	0.9	0.5	0.8	0.5	0.5	0.2
その他	2.1	1.6	2.1	1.7	1.8	1.5
特にない	5.2	5.5	5.0	6.4	4.5	6.8
不明	8.3	9.3	9.4	11.1	11.1	10.7
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

◆ 小学校/中学校時代の性情報への曝露状況 (表 27、表 28)

表 27 に、小学校時代の性メディアへの曝露状況を示す。学年順性別に見ると、「性描写のあるマンガ」への曝露は男子 28%、32%、35%、女子 26%、25%、24%と 3 割前後、「性描写のある雑誌」への曝露は男子 26%、32%、35%、女子で 15%、15%、17%と 1~4 割、「アダルトビデオ」への曝露は男子 13%、13%、14%、女子では 6%、5%、5%と 1 割前後で、男女いずれでも漫画、雑誌、ビデオの順で、男女差は有意であった ( $P < 0.001$ )。次に、中学校時代の性メディアへの曝露状況 (表 28) は、「性描写のあるマンガ」が最も多く、学年順に男子 64%、69%、71%、女子 57%、58%、57%で 5~7 割に達し、「性描写のある雑誌」は男子 55%、64%、65%、女子 29%、31%、32%と 3~7 割と高い値を示した。また、「アダルトビデオ」も男子 49%、55%、61%女子では 18%、18%、19%と 2~6 割であった。特徴的なことは「インターネットのアダルトサイト」で男子が 42%、38%、30%、女子で 12%、9%、6%と他の性情報源と異なり、低学年ほど経験者の割合が大きいことから、性に関する新しい情報源として、前述の携帯電話の急激な普及のように、急速に子どもたちの間に浸透を強めていることが伺われる。

表 27. 小学生のときに見たことがあるもの (複数回答)

		男子	%	女子	%
1 年生	アダルトビデオ	535	12.8	227	6.0
	エッチなマンガ	1188	28.4	977	26.0
	インターネットのエッチなサイト	246	5.9	61	1.6
	エッチな雑誌	1082	25.8	552	14.7
	見たことがない	2591	61.8	2571	68.5
	合計	4190	100.0	3754	100.0
2 年生	アダルトビデオ	713	13.4	257	5.0
	エッチなマンガ	1706	31.9	1260	24.5
	インターネットのエッチなサイト	210	3.9	42	0.8
	エッチな雑誌	1680	31.5	768	14.9
	見たことがない	2965	55.5	3564	69.3
	合計	5340	100.0	5142	100.0
3 年生	アダルトビデオ	259	14.4	75	4.9
	エッチなマンガ	630	35.1	373	24.2
	インターネットのエッチなサイト	39	2.2	7	0.5
	エッチな雑誌	634	35.3	256	16.6
	見たことがない	939	52.3	1064	69.1
	合計	1796	100.0	1540	100.0

表 28. 中学生のときに見たことがあるもの (複数回答)

		男子	%	女子	%
1年生	アダルトビデオ	2058	49.2	671	18.0
	エッチなマンガ	2663	63.7	2130	57.0
	インターネットのエッチなサイト	1771	42.4	448	12.0
	エッチな雑誌	2297	54.9	1088	29.1
	見たことがない	914	21.9	1333	35.7
	合計	4181	100.0	3738	100.0
2年生	アダルトビデオ	2950	55.1	919	17.9
	エッチなマンガ	3671	68.6	2957	57.5
	インターネットのエッチなサイト	2029	37.9	478	9.3
	エッチな雑誌	3429	64.0	1601	31.2
	見たことがない	832	15.5	1765	34.3
	合計	5355	100.0	5139	100.0
3年生	アダルトビデオ	1109	61.4	294	19.2
	エッチなマンガ	1285	71.2	875	57.1
	インターネットのエッチなサイト	546	30.2	87	5.7
	エッチな雑誌	1180	65.4	482	31.5
	見たことがない	257	14.2	545	35.6
	合計	1805	100.0	1532	100.0

## (6) 交際状況

### ◆ 交際状況 (表 29) 交際相手 (表 30)

高校生の交際状況を表 29 に示した。一度も交際経験のない人は、学年順性別に見ると、男子では 46%、44%、41%と約 4~5 割、女子では 38%、35%、30%と約 3~4 割であった (男女差  $P < 0.001$ )。また、現在、交際相手のいる人は、男子 16%、19%、22%と約 2 割、女子では 21%、26%、29%と約 3 割で学年とともに増加していた (男女差  $P < 0.001$ )。これまでの交際相手は、「高校生」が男子では 69%、80%、82%、女子では 75%、75%、67%と大多数を占めるが、女子では、高校生以上の相手が男性より大きく (男女差  $P < 0.001$ )、高 3 になると女子では「社会人」が 26%、「大学生」が 11%、「フリーター」が 8%を占め、高校生以外の社会集団とのネットワークのつながりが大きいことが観察された (表 30)。